

トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2017年1月21日～2017年1月27日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は、1週間を通して見ると対米ドル、対円で下落となりました。また、2年国債は金利上昇となりました。24日（現地、以下同様）に行われた金融政策委員会では、1週間物レポ金利と翌日物借入金利については、それぞれ据え置かれたものの、翌日物貸出金利は0.75%ポイント引き上げられました。また、本来は金融機関の資金不足を緊急的に回避するための資金供給金利として設定されている後期流動性貸出金利は、10.0%から11.0%へ引き上げられました。声明文では、通貨安がインフレ圧力につながる可能性に言及し、見通しの悪化を封じ込めるために金融引き締めを強化したことが示されました。また27日には、格付会社のフィッチ・レーティングスがトルコの外債建長期国債格付けをBB+へ1ノッチ引き下げ、見通しを安定的としました。引き下げの理由として、政治状況や治安の悪化が経済のパフォーマンスや公的機関の独立性を弱めていることなどを挙げました。

【2】今週の見通し

今週は貿易収支や消費者物価指数の発表が予定されています。引き続き、中央銀行はインフレ動向に注意を払っており、今後の金融政策を占う上でも注目が集まります。24日の金融政策委員会で、1週間物レポ金利が据え置かれたこと自体は、政権への一定の配慮だと考えられますが、非伝統的な手法ではあるものの、市中金利を引き上げたことはトルコ・リラ安抑制に一定の効果があると考えられます。

【3】主要経済指標

発表日	発表頻度	期間	指標名	データ	(参考)前回
1/24	月次	-	1週間物レポ金利	8.00%	8.00%
1/24	月次	-	翌日物貸出金利	9.25%	8.50%
1/24	月次	-	翌日物借入金利	7.25%	7.25%
1/24	月次	-	後期流動性貸出金利	11.00%	10.00%
1/31	月次	12月	貿易収支	-	-41.1億ドル
2/3	月次	1月	消費者物価指数(前月比)	-	1.64%
2/3	月次	1月	消費者物価指数(前年同月比)	-	8.53%

※「主要経済指標」は、資料作成時点のデータを基に作成しております。

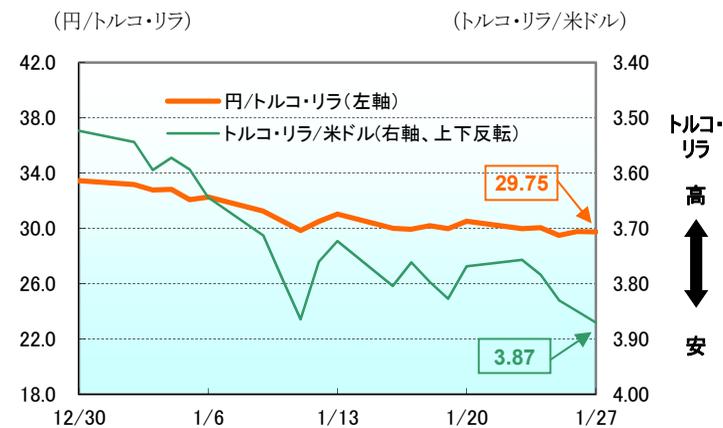
(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

【トルコ・リラ 為替推移】 (2016年12月30日～2017年1月27日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【トルコ 金利推移】 (2016年12月30日～2017年1月27日)

